令和4年11月 定例会

津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会 会議録目次

津山圏域資源循環施設組合議会定例会の招集について	1
議案の送付について	3
組合議会運営予定表	4
議事日程	5
会議に付した事件	6
出席・欠席議員	6
出席した説明員	6
出席した事務局職員	6

第1号（11月18日）

開会宣言	7
日程第1 会議録署名議員の指名	7
日程第2 会期の決定	7
日程第3 議案第2号、議案第3号一括上程	7
日程第4 議案質疑及び一般質問、採決	10
閉会宣言	11
会議録署名議員	12

津資組第621号

令和4年11月11日

津山圏域資源循環施設組合議会

議長	金田稔久	殿
副議長	森本孝道	殿
議員	勝浦正樹	殿
議員	田口浩二	殿
議員	村田隆男	殿
議員	岸泰廣	殿
議員	小阪四郎	殿
議員	小則吉洋	殿

津山圏域資源循環施設組合

管理者 谷口圭三

津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会の招集について

津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会の招集について、津山圏域資源循環施設組合告示第10号の写しを添えてお知らせします。

津山圏域資源循環施設組合告示第10号

令和4年11月11日

令和4年11月18日（金曜日）午前10時30分、津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会を津山市役所議場に招集する。

津山圏域資源循環施設組合

管理者 谷 口 圭 三

津資組第624号
令和4年11月11日

津山圏域資源循環施設組合議会

議長	金田稔久	殿
副議長	森本孝道	殿
議員	勝浦正樹	殿
議員	田口浩二	殿
議員	村田隆男	殿
議員	岸泰廣	殿
議員	小阪四郎	殿
議員	則吉洋介	殿

津山圏域資源循環施設組合
管理者 谷口圭三

議案の送付について

津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会に提出する下記の議案をお送りします。

記

議案第2号 令和3年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算

議案第3号 令和4年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算（第1次）

令和4年11月18日

津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会運営予定表

月 日	曜	会 議	備 考
11月 18日	金	全員協議会（午前10時00分） ・次第1 開会 ・次第2 管理者あいさつ ・次第3 協議事項 （1）議事日程について ・次第4 報告・説明事項 （1）津山圏域資源循環施設組合組織体制について （2）津山圏域クリーンセンター施設運営状況について （3）津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター 「し渣」について （4）津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定 例会提出議案について （5）今後のスケジュールについて （6）その他 ・次第5 その他 ・次第6 閉会	
		本会議開会（午前10時30分） ・日程第1 会議録署名議員の指名 ・日程第2 会期の決定 ・日程第3 議案上程 管理者の提案理由の説明 ・日程第4 議案質疑及び一般質問 採決 閉会	

津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会議事日程

(第1号)

令和4年11月18日(金) 午前10時30分開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第2号 令和3年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出
決算
議案第3号 令和4年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算
(第1次)
- 日程第4 議案質疑及び一般質問
採決

本日の会議に付した事件

日程番号	
第1	会議録署名議員の指名
第2	会期の決定
第3	議案第2号、議案第3号上程
第4	議案質疑及び一般質問、採決

出席・欠席または遅参・早退した議員の番号・氏名

議席番号	氏名	出席 欠席	遅参 早退	議席番号	氏名	出席 欠席	遅参 早退
1	勝浦正樹	出席		5	岸泰廣	出席	
2	金田稔久	//		6	森本孝道	//	
3	田口浩二	//		7	小阪四郎	//	
4	村田隆男	//		8	則吉洋介	//	

説明のため出席した者の職氏名

職名	氏名	職名	氏名
管理者	谷口圭三	会計管理者	久松美也子
副管理者	野口薫	監査委員	和田賢二
(鏡野町副町長)	藤田昭彦	監査事務局長	田中啓治
(勝央町副町長)	古山葉富	事務局長	坂本達彦
(奈義町副町長)	森藤文典	事務局次長	藤木俊和
(美咲町副町長)	忠政堅之	事務局主査	福田香
		事務局主査	庄司睦

職務のため出席した事務局職員の職氏名

職名	氏名	職名	氏名
事務局主幹	庄司淳子	会計年度任用職員	甲田勉

会議場所 津山市議場

津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会

令和4年11月18日(金)

午前10時45分 開会

●議長(金田稔久氏)

ご着席をお願いいたします。

本日、津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会が招集されましたところ、皆様方におかれましては、ご多用のところ、ご参集をいただき、大変お疲れ様でございます。

ただいまの出席議員は、8名全員でございます。ただ今から、津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会を開会いたしたいと思っております。

日程第1 会議録署名議員の指名

●議長(金田稔久氏)

日程第1、会議録署名議員の指名を行いたいと思っております。

会議録署名議員は、会議規則第27条の規定により、4番、村田隆男議員、6番、森本孝道議員を指名いたしたいと思っております。

日程第2 会期の決定

●議長(金田稔久氏)

次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りをいたします。

本定例会の会期は、本日1日といたしたいと思っておりますが、これに、ご異議ございませんか。

～承認(異議なしの声あり)～

●議長(金田稔久氏)

ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日1日限りと決定いたします。

日程第3 議案第2号、議案第3号 一括上程

●議長(金田稔久氏)

次に、日程第3に入ります。議案第2号、令和3年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算、議案第3号、令和4年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算(第1次)を一括上程し、議題といたします。

この際、管理者に提案理由の説明を求めます。

◇管理者(谷口圭三氏)

議長。

●議長(金田稔久氏)

はい、谷口管理者。

◇管理者(谷口圭三氏)

本日、ここに津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては、ご多忙中にもかかわらず、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

それでは最初に、議案第2号、令和3年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算につき

まして、ご説明を申し上げます。

本案は、地方自治法第 233 条第 3 項の規定に基づく、令和 3 年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算の認定を求めるものでございます。

それでは、令和 3 年度の決算概要につきましてご説明を申し上げます。

予算総額は、17 億 9,872 万 1 千円でございます。これに対します決算額は、歳入 18 億 2,320 万 1,592 円、歳出 17 億 6,306 万 1,765 円でございます。歳入歳出差引額 6,013 万 9,827 円を令和 4 年度へ繰り越しいたしております。決算に関します関係書類につきましては、監査委員の審査に付し、その結果は会計決算審査意見書のとおりでございます。

昨年度、津山圏域クリーンセンターの施設運営は 6 年度目となり、昨今のコロナ禍においても、厳重な環境管理を行いながら、ごみ処理を行っております。しかしながら、ご承知のとおり、搬入される可燃ごみが、施設設計時の見込みより増加し、ごみピットの使用率が基準を超える状況となったことから、可燃ごみの一部について昨年度より外部搬出処理を行っております。同時に、本年 1 月に発出いたしましたごみ減量宣言のもと、構成市町でも呼びかけなどを行い、住民のみなさま方によるごみ減量化の取組みもございまして、昨年度の同時期と比べ、徐々にその効果が表れてきております。今後もクリーンセンターの安定的な運営に向けて、構成市町と連携しながら、ごみ減量に取り組み、圏域住民の重要な社会基盤として、その役割を果たしてまいりたいと考えております。議員の皆様方におかれましては、引き続きご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、令和 3 年度決算の概要につきまして、総括的な説明とさせていただきます。

続きまして、議案第 3 号、令和 4 年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算（第 1 次）についてご説明を申し上げます。本案は、令和 3 年度決算に基づく歳計剰余繰越金などの補正を行うもので、歳入歳出予算にそれぞれ 4,514 万円を追加し、総額を 17 億 5,036 万 4 千円とするものでございます。後ほど、事務局から詳細を説明させますが、何卒よろしくご審議のうえ、ご議決を賜りますようお願いを申し上げます。

△事務局長（坂本達彦氏）

議長。

●議長（金田稔久氏）

はい、坂本事務局長。

△事務局長（坂本達彦氏）

それでは、私から議案第 2 号、令和 3 年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算につきまして、ご説明をいたします。決算書の事項別明細書で各款の金額及び主な内容につきまして説明をさせていただきます。

それでは、津山圏域資源循環施設組合会計決算書及び付属書類の 14 ページ、15 ページをお開きください。

まず、歳入についてご説明いたします。右側 15 ページの収入済額の欄が決算額でございます。款 45 分担金及び負担金でございますが、構成市町の分担金で 13 億 7,387 万 7 千円を収入しておりますが、このうち 5,971 万 7 千円は、ごみピット使用率のひっ迫に係る可燃ごみの外部搬出処理に伴う補正分でございます。

次に、款 50 使用料及び手数料は、1 億 3,977 万 1,146 円で、このうち、ごみ処理手数料に

については、ごみピットの崩落以降、構成市町の取組みと住民、事業者のみなさまのご協力などで、ごみ減量が進んだことによりまして、直接搬入に係る一般ごみ処理手数料 1 億 2,172 万 6,946 円、家庭ごみ処理手数料 1,789 万 6,813 円となっております。

次に、款 80 繰越金は、1 億 1,358 万 9,416 円で、令和 2 年度決算による繰越金でございます。

次に、款 85 諸収入は、1 億 9,596 万 4,030 円で、右側 15 ページ備考欄の最下段をご覧ください。売電収入が 1 億 3,242 万 6,534 円で、次のページにお進みいただき、17 ページの備考欄、一番上になりますが、有価物販売収入 5,672 万 1,076 円、これが主なものでございます。

最下段の歳入合計でございますが、予算総額 17 億 9,872 万 1,000 円に対しまして、決算額は、18 億 2,320 万 1,592 円でございます。

次に、18 ページへお進みください。歳出についてご説明をいたします。

まず、款 10 議会費は、支出済額の欄 20 万 4,512 円で、組合議員の費用弁償に係る経費でございます。

次に、款 15 総務費、項 10 総務管理費は、6,569 万 5,552 円で、当組合の運営費でございます。

20 ページへお進みください。項 60 監査委員費でございます。7 万 3,734 円を支出しておりますが、監査委員への費用弁償等でございます。

次に、款 25 衛生費、項 20 清掃費は、9 億 3,772 万 5,721 円で、このうち、目 5 清掃総務費は、812 万 9,921 円でプロパー職員の給料、職員手当等でございます。

次に、目 10 管理棟管理費は、3,651 万 8,224 円で、組合事務所の経費及びリサイクルプラザの運営費等でございます。

目 12 熱回収・リサイクル施設等管理費でございますが、決算額は 8 億 6,788 万 6,166 円でございます。

22 ページにお進みいただき、節 12 委託料の備考欄をご覧ください。上から 3 番目、施設運営・維持管理業務委託料 5 億 2,350 万 7,719 円、その下の焼却残渣セメント原料化事業委託料 1 億 3,635 万 9,564 円が主なものでございます。また、下から 2 番目の可燃物処理委託料は、可燃ごみの外部搬出処理に伴う経費でございまして、委託業者との交渉や地元処理業者への直接持込みなどによる経費削減により、1 億 4,481 万 5,032 円でございます。

次に、目 15 最終処分場管理費でございます。支出済額 1,226 万 4,073 円で、水質監視等の業務委託料等でございます。

次に、目 18 多目的広場管理費は、331 万 2,325 円でございます。

24 ページへお進みください。目 20 施設建設費は、961 万 5,012 円で、周辺環境整備事業にかかる負担金等でございます。

次に、款 65 公債費でございます。7 億 5,936 万 2,246 円で、組合債の償還に要した経費でございます。最下段、歳出合計の支出済額は、17 億 6,306 万 1,765 円でございます。

26 ページへお進みいただきまして、実質収支に関する調書でございます。上から 3 番目の 3、歳入歳出差引額 6,014 万円から差し引かれる 4、翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので 5、実質収支額は、6,014 万円となっております。

28、29 ページをお開きください。財産に関する調書でございます。まず、公有財産の（1）土地及び建物につきましては、地積・面積ともに決算年度中の増減はございませんでした。また、2、物品につきましても増減はございません。

以上が、議案第2号の補足説明でございます。

続きまして、議案第3号、令和4年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算（第1次）につきまして、ご説明いたします。補正予算書の3ページをお開きください。第1条でございますが歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,514万円を追加いたしまして、総額を17億5,036万4千円とするものでございます。

歳入予算につきましてご説明をいたしますので、10ページ、11ページをお開きください。

まず、款80、項10、目10繰越金は、前年度繰越金6,014万円のうち、当初予算計上済みの1,500万円との差額4,514万円を増額補正するものでございます。

次に、歳出予算をご説明いたしますので、補正予算書の12ページ、13ページをお開きください。

まず、款25衛生費、項20清掃費、目20施設建設費の補正額は、3,000円でございます。周辺環境整備事業負担金として支出している津山市委託事業分の起債償還金の利率が上昇したことに伴います増額補正でございます。

款65公債費、項10公債費、目15利子の補正額は、3万4千円の増額補正を行っております。

款80予備費、項10予備費、目10予備費は、今回補正を行います。歳入総額4,514万円から、歳出の補正額3万7千円を差し引いた、4,510万3千円の増額補正を行うものでございます。

以上が、議案第3号の補足説明でございます。何卒よろしくお願いを申し上げます。

●議長（金田稔久氏）

提案理由の説明は終わりました。

日程第4 議案質疑 及び 一般質問、採決

●議長（金田稔久氏）

これより、日程第4に入り、議案質疑及び一般質問を行いたいと思います。

質疑・討論の通告がございませんので、これより採決に移ります。

ただいま一括上程、議題とされております議案第2号および議案第3号の2議案につきましては、それぞれ起立により採決をいたしたいと思います。

まず、議案第2号、令和3年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算について採決をいたします。

お諮りをいたします。

本案を原案のとおり認定することに賛成議員の起立を求めます。

～起立全員～

●議長（金田稔久氏）

ご着席ください。

起立全員と認めます。

よって、議案第2号は、原案のとおり認定することに決しました。

次に、議案第3号、令和4年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算（第1次）について採決をいたします。

お諮りをいたします。

本案を原案のとおり可決することに賛成議員の起立を求めます。

～起立全員～

●議長（金田稔久氏）

ありがとうございます。ご着席ください。

起立全員と認めます。

よって、議案第3号は、原案のとおり可決することに決しました。

以上で本定例会に付議されました案件の審議は、全て終了いたしました。

この際、管理者からごあいさつがございました。

△管理者（谷口圭三氏）

はい、議長。

●議長（金田稔久氏）

はい、谷口管理者。

△管理者（谷口圭三氏）

本日は、議員の皆様方には、ご多忙のところ、組合議会定例会にご出席をいただき、ただ今は提案をいたしました議案につきまして、適切なご議決を賜り、誠にありがとうございました。

今後とも、津山圏域クリーンセンターの安全な施設運営はもとより、各施設の活用を図りまして、憩いと交流の場として住民の皆様にも愛され、そして、親しまれる施設になるように努めてまいりますので、議員の皆様方の一層のご指導並びにご支援のほどをお願い申しあげまして、ごあいさつとさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

●議長（金田稔久氏）

これもちまして、津山圏域資源循環施設組合議会令和4年11月定例会を閉会といたします。

本日は、大変お疲れ様でした。

午前11時02分 閉会

地方自治法123条第2項の規定により、本会議の顛末を証するため、ここに署名する。

令和4年11月18日

津山圏域資源循環施設組合議会 議長 金田 稔久

津山圏域資源循環施設組合議会 議員 村田 隆男

津山圏域資源循環施設組合議会 議員 森本 孝道